

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3712
16年12月9日(金)
・Fax 095-828-1953

西海橋の無線塔から発信された開戦指令の暗号文

おはようございます。

今日はアメリカ力時間で日米開戦の七五周年の日だ。「日本側の真珠湾奇襲」という日米開戦の間の歴史が今も残る。その十二月に安倍首相がハワイの真珠湾に行き、戦没者の慰霊を行うという。政府は「謝罪ではない」といつが、この間にけりをつける意図があるともいつが、真意は。

そもそも、安倍首相の祖父岸信介こそ、この十五年戦争(満州事変、日中戦争、太平洋戦争)の起点となった満州国のNO.2の地位にあり、大戦中に商工大臣を務めてA級戦犯で下獄した人である。祖父の戦争にけりをつける意味もある。

そんなおり先日、午後のNHKラジオで、歴史家が太平洋戦争の口火となった「真珠湾攻撃は奇襲ではない」と解説していた。ついにNHKも歴史改ざんに踏み込んだ。ラジオでは、日本が宣戦布告を行ったのに、アメリカに届くのが遅れたのだという。もともと、先の戦争はアメリカの貿易規制などの挑発に原因があるとする「日本被害者説」と同じだ。

その問題のNHKの初井会長が事実上の解任で退任する。



安倍首相肝いりの人事だっただけに、なぜという感じがする。彼は就任直後「政府が右というものを左というわけにはいかない」と言い放ち、御用放送のNHKとした。

事実、この会長の任期中にNHKは大きく変わった。会長の意思に従わない役員は全員辞表を出せ」と迫る会長の脅しで、政府に批判的な番組へ圧力が強まり、ニュースには政府批判など聞けなくなつた。最たるものは「原発問題は政府発表以外を流すな」という報道規制に尽きる。国民の命の安全よりも政府を守るNHKの姿だ。

日米開戦問題だが、日本はそれ以前から、大陸では中国と戦争を行っていた。しかしこれは宣戦布告なき戦争で、日本では事変と呼ばれていた。満州事変などの呼称であるが、戦争と事変の違いはこの宣戦布告の有無にある。

なぜ戦争ではないのか。当時の世界でも「交戦国への第三国の貿易禁止」の国際条約があった。日本はエネルギーの石油の五割をアメリカから輸入しており、もし戦争となれば石油が途絶えるという事情があったから、戦争ではなく事変としたのだ。

しかし忘れてはならないことに、この日米開戦の十二月八日は、日本軍は真珠湾だけでなく、インドシナ半島の諸国へも奇襲を行っていた。アメリカだけでなく、イギリスやオーストラリアなどの欧米との開戦でもあった。これは真珠湾奇襲だけではない。



攻撃開始の三〇分前に、野村大使がハル長官に手交する予定だったが、ワシントンの日本大使館の不手際により、野村大使がハル長官に手渡したのは攻撃開始から一時間後のことであつた。これが日本のだまし討ちという汚名がつく歴史的、時間的な経過だ。(昭和の歴史、小学館から)。

開戦に至る経過だ。一九四一年十一月二六日、アメリカのハル国務長官が「ハル・ノート」といわれるアメリカの要求書を日本に手渡す。満州からの日本の撤退などの厳しいもので、日本は十二月一日の御前会議(天皇をふくめた日本の最高意思決定)で十一月八日の日米開戦を決める。

開戦から七五年後、歴史の改ざんで、日本の戦争責任を否定しても、戦後すぐに書かれた歴史書には事実の記録が残る。戦後の歴史は勝者が書くともいつが、割り引いたとしても、戦争を事変と言ひ換え、中国と十年余も戦争を続けた日本に正当性はない。

ときも同じく十一月二六日、日本海軍は六隻の航空母艦や戦艦など三隻の大艦隊を南千島の港から出撃させている。目的はハワイの真珠湾の米軍基地であつた。

そして十二月二日に、連合艦隊司令部は、「ニイタカヤマノボレ二〇八」の暗号を西海橋の無線塔から出す。「十二月八日の午前零時を期して戦闘に入れ」というものだ。

日本の最後通牒は、真珠湾

結果的にこの十五年戦争には、おびただしい命が奪われた。日本では戦死した軍人・軍属が二百三十万人、外地で死亡した民間人が三十万人。国内の戦死死亡者が五十万人で、合計三百二十万人である。中国大陸での諸外国の死者は二千万人とされる。戦争とは決して美しいものではない。

最後に私的な戦争だ。私の父は、一九四四(昭和一九年)

に赤紙で召集され、佐世保基地からインド洋のアンダマンの孤島へ送られ、イギリス軍と戦争をした。この戦争を書いた「インド洋孤島戦記」(小澤一彦)によれば、「あと三か月戦争が続いていたら、この島の八千人の部隊は全滅しただろう」といつ。

父たち日本軍はこの孤島で敗戦を迎え、イギリス軍の捕虜として一年の強制労働のうち、一九四五年の五月に、アメリカ軍の輸送船で和歌山県の田辺港に奇跡的に生還する。もし父がここで戦死していたら、私もいない。そう思えば、遠い戦争の過去の歴史は、私にもつながっている。

戦争は当時の日本帝国主義によって引き起こされたが、国が国益とか、国の安全とか大義とかをいつときには、心してかかる必要がある。

現代でも石油は日本の生命線として、国益擁護の目的で中東やアフリカへ派兵される自衛隊の新たな戦争も、こうした理由で、反対である。

明日忘年会



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めどせ、均等待遇

なくそう差別

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!